

= 目 次 =

1. 重大事故情報 = 7件 (3月13日～3月19日分)

- (1) 乗合バスの車内事故
- (2) 貸切バスが歩行者を撥ねる事故
- (3) タクシーが歩行者を撥ねる事故
- (4) タクシーと二輪車の交差点出会い頭事故
- (5) タクシー運転者の救護義務違反等の疑い逮捕
- (6) トラック運転者の救護義務違反等の疑い逮捕
- (7) トラック運転者の酒気帯び運転による追突事故

2. 「重大事故情報」のその後

- (1) トレーラのスリップ事故 (平成21年7月1日)
- (2) トラック運転者の酒気帯び運転による事故 (平成22年1月18日)

【1. 重大事故情報 = 7件】 (3月13日～3月19日分)

(1) 乗合バスの追突事故

3月14日午前3時30分頃、山口県の中国自動車道・下り線で、乗合バスが乗客、乗員25名を乗せ運行中、本線上に横転していた乗用車に追突した。この事故で、追突された乗用車の助手席に乗っていた男性が死亡し、当該乗合バスに乗っていた乗客4名が軽傷を負った。事故現場は、カーブが連続する緩やかな下り坂とのこと。

(2) 貸切バスが歩行者を撥ねる事故

～交差点では、「車、自転車、歩行者が出てくるかもしれない」と予測を～

3月14日午後2時05分頃、石川県で、貸切バスが乗客49名を乗せ運行中、交差点を三輪自転車で道路を横断していた女性を撥ねた。この事故で、撥ねられたお年寄りの女性が頭を強く打って死亡した。事故現場は、市道どうしが交わる交差点で、信号機や横断歩道はないとのこと。

(3) タクシーが歩行者を撥ねる事故

～夜間は昼間に比べ視界が悪い。「夜間の運転で見える距離は、昼間よりはるかに短くなっている」認識を！～

3月13日午前2時30分頃、東京都で、回送運行中のタクシーが左側から道路を横断してきた歩行者(男性：55才)を撥ねた。この事故により、撥ねられた歩行者が死亡した。

(4) タクシーと二輪車の交差点出会い頭事故

～交差点では「車、自転車、歩行者が出てくるかもしれない」
と予測を！～

3月13日午後2時20分頃、徳島県で、タクシーが空車にて運行中、交差点にて原付バイクと出会い頭に衝突した。この事故で、原付バイクの運転者が病院に運ばれたが死亡した。事故当時、当該タクシーに乗客はなく、当該タクシー運転者にケガはなかった。

(5) タクシー運転者の救護義務違反等の疑い逮捕

～運転者に対して、ひき逃げは許される行為ではないことの徹底を！～

3月15日午前0時55分頃、神奈川県で、タクシーが空車にて運行中、同方向に進行していた自転車を撥ねた。この事故で、自転車に乗っていた大学生が頭の骨を折るなどの重傷を負った。当該タクシー運転者は、負傷者の救護措置をすることなく現場から立ち去り、同日、会社の同僚に付き添われ警察に出頭し、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反（救護義務違反）の疑いで逮捕された。当該事故現場は、片側3車線の直線道路で、当該タクシーは左側車線を走行していたとのこと。当該タクシー運転者は、「怖くなって逃げた。」などと供述しているとのこと。

(6) トラック運転者の救護義務違反等の疑い逮捕

～運転者に対して、ひき逃げは許される行為ではないことの徹底を！～

1月16日午前10時40分頃、埼玉県で、トラックが丁字路を左折しようとしたところ、対向車線より右折してきた軽乗用車と衝突した。この事故で、軽乗用車の運転者が軽傷を負った。当該トラック運転者は、事故後、負傷者の救護措置をすることなく現場から立ち去り、その後の警察の調べにより、3月17日、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反（救護義務違反）の疑いで逮捕された。当該トラック運転者は、事故後、損傷した当該トラックのバンパーを取り外し、証拠を隠そうとしたとのこと。

(7) トラック運転者の酒気帯び運転による追突事故

～運転者に対して、飲酒運転・酒気帯び運転は犯罪であることの再認識の徹底を！～

3月17日午後12時30分頃、広島県で、大型トラックが追い越し車線を走行中、走行車線を走行していた軽自動車と接触事故を起こし、そのまま走り去った。その後の警察の捜査で、当該大型トラックを発見し、当該トラック運転者の呼気から0.45mg/Lのアルコールが検出されたため、当該トラック運転者を酒気帯び運転の疑いで逮捕した。この事故によるけが人はなかった。

【2. 「重大事故情報」のその後】

* 以前にこのメルマガで紹介した重大事故情報のその後の情報をお知らせ
します。

(1) 貸切バスの横転事故 (平成 2 2 年 1 月 3 0 日)

= 事故概要 =

1 月 3 0 日午前 1 1 時頃、大分県で、バスが左カーブで左側方面に乗り上げ
右側に横転。当時、乗客 2 名が乗車していたが、1 名が薬指を骨折。運転者が
胸を強く打って吐血する重傷を負った。

= その後の情報 =

その後の調査によると、当該運転者は、当該バスが横転し胸を強く打ったこ
とによる吐血ではなく、急性の出血性胃潰瘍により吐血し意識を失ったこと
により、ハンドルを切ったままの状態では法面に乗り上げ横転したとのこと。

(2) トラック運転者の酒気帯び運転による事故 (平成 2 2 年 1 月 1 8 日)

~ アルコールインターロックの取付だけで安心せず、定期的に器機のチェ
ックを！ ~

= 事故概要 =

1 月 1 8 日午後 4 時 3 2 分頃、岡山県の中国自動車道下り線で、トラックが
中央分離帯ガードレールに衝突し、炎上した。事故後、警察が運転者の飲酒の
有無について検査したところ、呼気 1 リットル中 0 . 2 ミリグラムアルコール
が検出されたため、道路交通法違反 (酒気帯び運転) の疑いで運転者を現行犯
逮捕した。この事故により、当該トラックが全焼したが、けが人はなし。

= その後の情報 =

その後の調査によると、当該車両には、事業者が後付けのアルコールインタ
ーロックを取付けていたが、当該運転者は、事業者に無断でアルコールインタ
ーロック装置の配線を取り外していたとのこと。

【メルマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車交通局安全政策課

* このメルマガについてのご意見は、< jiko-antai@mlit.go.jp > まで
お寄せください。

よくある質問

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html>)

自動車交通局ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html>)